

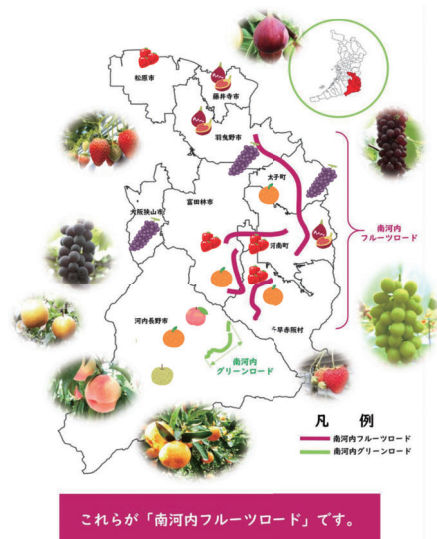
南河内地域のまちづくり

～公民連携の取組～

■南河内地域の特徴

南河内地域は、大阪府の南東部に位置し、6市2町1村で構成され、近鉄南大阪線と南海高野線といった鉄道に加え、国道が平坦部から放射状に山間に伸び奈良県・和歌山県へ通じています。

大阪都心部からのアクセス利便性が高く、豊かな自然環境や農空間・フルーツなどの農産物、歴史・文化資源等が集積している地域であり、さまざまな取組が行われています。



■南河内地域の『大阪のまちづくりグランドデザイン』における位置づけ

『南阪奈（南河内）都市軸 活性化エリア』

＜戦略1 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成＞

幹線道路による広域アクセス性を活かした産業集積の維持・発展や立地の誘導とともに、大和川などの自然環境、世界遺産の古市古墳群や竹内街道、葛井寺などの歴史・文化資源等の集積を活かし回遊性の向上を図り、農空間やフルーツなどの農産物も活用し、エリア外から多様な人を呼び込む都市魅力に加え、良好な住環境を備えた南阪奈（南河内）都市軸の発展を担うエリアの形成をめざします。

＜戦略2 大阪ならではの魅力を活かし、暮らしやすさNo.1都市を実現＞

- 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編
- 豊かな自然を活かしたまちづくり

＜戦略3 海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化＞

- 河川空間を活かした魅力あるまちづくり
- 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり
- 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成



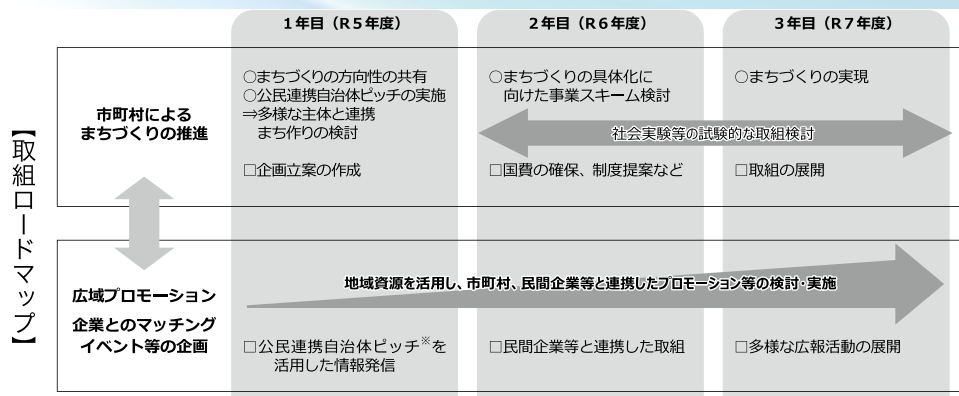
■多様な主体が一体となったまちづくりのコーディネート

＜南河内地域まちづくり検討会＞

地域の市町村と連携し、地域にふさわしいまちづくりの推進を図ることを目的に、情報交換を行うとともに、具体的な施策や取組等に関し、協議、検討を実施

【構成員】

市町村：富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
大阪府：成長戦略局、市町村局、スマートシティ戦略部、府民文化部、南河内農と緑の総合事務所、
富田林土木事務所、大阪都市計画局（事務局）



■公民連携の取組

取組① まちづくり自治体ピッチ&マッチングの開催（市町村によるまちづくりの推進）

南河内地域9市町村が自らの課題を発信し、事業者からソリューション提案を募る「ピッチ&マッチングイベント」

- 開催日：令和6年3月18日（月）13:00～18:00
- 参加人数：171名（民間企業等132名、自治体39名）
- 主催：株式会社三井住友銀行
- 場所：NTT西日本運営施設（QUINTBRIDGE）

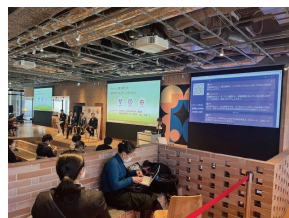
市町村名	テーマ・企業に求める事項
羽曳野市	「観光・地域の活性化」 通法寺や壺井八幡宮等、歴史文化資源を活用したまちづくりに繋がる。
藤井寺市	「まちのにぎわいづくり活性化」 アイセルシュラホールやその周辺を活用したまちづくり
太子町	「国登録有形文化財「山本家住宅」エリアの利活用」 飯福寺門前にある山本家住宅及び竹内街道等、歴史文化資源を活用したまちづくり
富田林市	「外国人市民も暮らしやすいまち」 外国人市民もだれ一人取り残されることなく安心して生活ができるようなアイデア
河内長野市	「地域資源を活かしたふるさと納税返礼品開発・賑わい創造」 多くの方からの寄附のきっかけになる魅力的な返礼品
松原市	「万博を契機とした市内への誘客」 大阪関西万博の機運醸成と誘客にも繋がるイベントの企画や運営等
大阪狭山市	「市民ふれあいの里リニューアルによる公民連携のまちづくり」 市民ふれあいの里リニューアルやエリア一帯のまちづくりの推進
河南町	「安全・安心な暮らしを支える多機能拠点再整備」 町の中心地区において、多様な機能の導入等、にぎわいのある多機能拠点再整備
千早赤阪村	「地域活性化・交流人口の増加を図るための拠点整備」 交流拠点施設整備の検討に際し、施設の魅力や利便性向上につながる機能・施設配置・官民連携に向けた施設の整備手法や可能性等



会場



登壇者による発表



ディスカッション



個別面談ブース

取組② 南河内地域市町村向けプロモーションセミナーの開催（広域プロモーション）

大阪・関西万博の広報・プロモーション活動を行う企業との連携による市町村職員向けプロモーションセミナー・ワークショップ

- 令和6年10月4日（金）13:00～17:00、31名が参加
- ・自治体職員による効果的なプロモーション手法について提供
- ・参加職員が自ら考えるプロモーションについて発表



プロモーションイメージ



プロモーションセミナー